

医療・福祉ニュース

OKUMAMAMOTO

このコーナーでは熊本市内でオープンした病院や新治療システム、福祉施設、福祉サービスなどの最新情報をご紹介します。

熊本駅前8階建て福祉介護ビルが完成



JR熊本駅前にオープンした8階建て福祉介護ビル

青照会

熊本駅前看護リハビリテーション学院などを運営する(学)青照学会(熊本市西区春日2丁目)が、JR熊本駅前の同学院筋向いに建設していた8階建て福祉介護ビルが完成、10月1日にオープンした。

特別養護老人ホームとグループホーム、ショートステイ、デイサービスなどの複合施設で、ビルの名称は「グッドライフ熊本駅前」。敷地面積は1898㎡、鉄筋コンクリート造り8階建て、延べ床面積は6032㎡。フロア構成は1階が多目的交流スペース、2階がテナントスペース、3階は事務室とデイサービス、厨房(ちゅうぼう)、4階が地域交流センターとショートステイ(10床)、

5〜7階が特別養護老人ホーム(60床)、8階がグループホーム(18床)、スタッフは80人程度。

同会では「熊本駅前看護リハビリテーション学院の学生ボランティアとの異世代交流などを通して、介護予防に取り組みとともに、クリニックなどの医療との連携を目指していきます」と話している。

患者自ら歩行訓練機を操作するリハビリ開始

熊本セントラル病院

潤心会・熊本セントラル病院(菊池郡大津町)は10月から、患者自らが歩行訓練機を操作するリハビリプログラムを始めた。

これまで介助者が操作していた歩行訓練機「歩行アシスト」(本田技研工業(株)製)を、患者本人が操作できるようにすることで、在宅での歩行訓練につなげていきたい考え。リハビリテーション科での歩行訓練プログラムなどで実践的に実施する。歩行訓練機「歩行アシスト」



▲歩行訓練機「歩行アシスト」

▼左は「歩行アシスト」を実際に人が装着した時の様子



乳児を持つ母親向けの助産院を開院

ままこや

計4人。駐車場は9台収容。森下院長は「地域に密着した総合内科クリニックとして、一人ひとりに合わせた医療を心がけます。専門性を生かした診療で皆様の健康をサポートしていきます」と話している。

助産院運営などを行う(株)ままこや(熊本中央区琴平本町)はこのほど、同地に乳児を持つ母親向けの助産院「ままこや」を開院した。



助産院の施設内の様子

場所は通称白山通り沿いのゆう歯科クリニック北側。敷地面積1200㎡、木造2階建て、建築面積210㎡の民家を利用してある。同院では乳児(0〜12カ月)の月齢に応じた遊びとエクササイズ、講義・実技を行っているほか、母親向けの発達学セミナーも開催。将来的には、0歳からジュニアアスリートをサポートしていくことも考えている。

南千反畑町に内科クリニックを開院

熊本市の森下医師

熊本市の元くまもと森都総合病院勤務・森下祐子医師はこのほど、同市中央区南千反畑町に内科クリニックを開院した。

場所は県道熊本瀬田線沿い、明午橋北西側。名称は「明午橋内科クリニック」。フロア面積は約110㎡。木造2階建ての1階に居居し、診察室、検査室、処置室などを設けている。診療科目は内科、肝臓・消化器内科、放射線科。診療時間は午前9時から午後12時30分、午後2時30分から同6時まで(水曜・土曜日はお昼12時30分まで)で、休診日は日曜・祝日。スタッフ



熊本市の明午橋近くに開院した内科クリニック

また、秋山えみ社長は理学療法士の資格を取得しており、育児相談にも対応するという。教室は最大6人までのグループ制で、月謝は月2回のレッスンで5000円。そのほか母親同士の交流会「ままこやカフェ」も月1回開催。今後は県内での複数院展開や県外でFC展開も検討している。

秋山社長は「赤ちゃんの運動が人間の姿勢や運動神経形成に関わっており、最大限の力を出すためには0歳時に運動をしっかりとさせることがオリンピック選手など、トップアスリートのトレーニングから実証されています。赤ちゃんに良い刺激を与えて天才を作るスイッチをオンにし、熊本からトップアスリートを輩出できるようにしていきたいと考えています」と話している。

清水 悦子さん(62)
清水電気工業 社長
(熊本市南区田迎1丁目)

96年に県内でいち早く太陽光発電事業に参入し、過去5年間で事業所向けソーラー発電設備の設置を主力に年間平均で3.5メガワットの工事を行いました。今後も全事業を通して社会貢献に努め、お客さまのニーズに細かく対応していきたいです。

元気発信!

三原 修一さん
みはらライフケアクリニック 院長
(熊本市東区上南2丁目)

超音波検査や胃・大腸内視鏡検査で、開業から1年10カ月で42例のがんを発見。体の内部から病気を治すことを目的に漢方治療も行い、必要に応じて西洋薬と併用し、より効果の高い治療を目指しています。命・生活・心のライフケアで地域医療を実践します。

元気発信!

和田 健児さん(40)
エコラポホーム 社長
(熊本中央区水前寺6丁目)

「7代先まで考えた家づくり」をテーマに、お客さまに長く寄り添い、多くの方を幸せにできる住宅を提案しています。住宅業界の環境に対する意識の低さに疑問を感じており、日本の住宅の寿命が30年といわれている現状を変えていきたいと考えています。

元気発信!

山本 浩之さん(33)
マリアージュ 代表
(熊本中央区花畑町)

生花、観葉植物などを販売しており、創業10周年を機に新商品「くまモンブーケ」を発売。県産の花を用いたブーケにミズゴケで形作ったくまモンを合わせた商品で、熊本県が生産量全国上位を占めるカスミソウやトルコギキョウなどを活用し、熊本らしさを表現しています。

元気発信!

松岡 祥仁さん(44)
CLOUD-IA 社長
(合志市須屋)

クラウドシステムの構築や通販用ウェブサイト開発・運営、英会話研修事業、音楽イベント事業などを手掛ける新会社を設立。今後、ネット通販大手のアマゾン社の協力を得てクラウドビジネスを展開する予定です。クラウドを基にさまざまなITビジネスに関わってまいります。

元気発信!

前川 久美さん(42)
J-site熊本 熊本エリア代表
(熊本市区植木町植木)

地域情報ポータルサイト「J-site熊本」の熊本エリアのページを開設しました。地域の特産品や店舗、行政の最新情報、地域ごとの企画や特集も計画中で、フェイスブックとの連動で旬な情報をいち早く発信しています。現在、掲載店も募集中です。多くの方に活用していただきたいです。

元気発信!

吉角 丸子さん(55)
益城電池 専務
(熊本市区小山3丁目)

バッテリーの販売、蓄電システムの製造・販売を中心に事業を展開。来年の初めにはバッテリーと蓄電システムのレンタル部門の分社化を予定しています。バッテリーを通じた新たな価値の創造で、将来は熊本を代表するような大きな企業にしていきたいです。

元気発信!

川口 貴光さん(34)
スヴェンソン熊本スタジオ 店長
(熊本中央区上通町)

上通りアーケード沿いに男性向けの増毛・頭皮ケア専門店をオープン。料金やシステムが明確で、美容室感覚で安心して利用できることが特徴です。増毛にはまだ早いという方には、頭皮ケアや育毛サポートと一緒に自毛を生かしたスタイリッシュな髪型を提案しています。

元気発信!